

新しい方が職員として加わりました

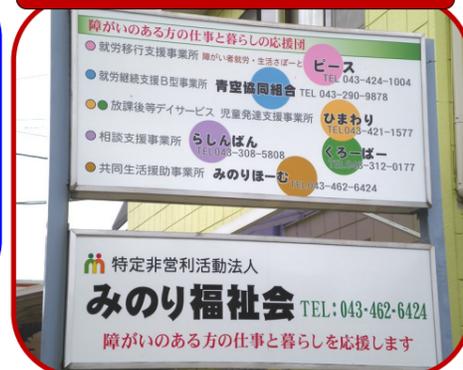
新入職員です。よろしくお願いします。

(青空協同組合) 新山悠里さん
(ひまわり・くろーばー)

畑山雅子さん、黒木美佳さん
浅野 仁さん、阿部仁美さん



新しい看板ができました



理事の長澤様 お花ありがとうございます



いつもきれいなお花

ありがとうございました!



日本財団様 ありがとうございます



相談支援事業所 らしんばん 紹介

らしんばんは、平成25年2月にみのり福祉会の6番目にできた事業所です。場所は物井三叉路バス停の近くにあります。みのり福祉会の大きな看板が目印です。

障害のある方やそのご家族の不安なこと、困っていることを一緒に考え、解決のお手伝いをしています。福祉サービスの情報提供・助言はもちろん、サービス利用計画作成や変更、色々な専門機関や関係機関との連絡調整も行っています。2名の相談員が安心して生活が続けられるように、お手伝いをしていきますので是非、お気軽にご相談ください。ご家庭に伺ってのご相談も行っていますので、ご遠慮なくお申し付けください。

サービス利用計画作成と基本相談は らしんばんへ

〒284 - 0027 四街道市栗山740 Tel 043 - 308 - 5808

総会・理事会が開かれました

6月6日(土)にコミュニティセンター佐倉で総会・理事会が開催されました。

理事会:理事8名・監事2名の出席

総会:会員総数36名、出席16名、委任状12名でした。

議題は、26年度の事業報告と決算報告、27年度の事業計画(案)ならびに活動予算(案)で、全議題とも承認されました。

今年度の理事会・総会で特筆すべき事項は、今後3年計画で「社会福祉法人格の取得」と「生活介護事業所の開設」の準備を進めることでした。

なお、承認された、事業報告、決算書、事業計画、予算書等については、ホームページに掲載します。



みのり通信

第12号

発行 平成27年7月30日
特定非営利活動法人みのり福祉会
〒285-0862
千葉県佐倉市新臼井田8-3
043-462-6424

ごあいさつ

会報のバックナンバーは、ホームページ <<http://minori294.ec-net.jp/>>に掲載してあります。



理事長 立田 芳弘

日頃より当法人の取り組みに対して格別のご理解とご協力頂き感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

現在、みのり福祉会が運営する事業所は、就労移行支援事業所(障がい者就労・生活さぼーとピース 定員20名)、就労継続B型事業所(青空協同組合 定員20名)、放課後等デイサービス、児童発達支援事業所(児童デイサービス ひまわり 定員10名、児童デイサービス くろーばー 定員10名)、共同生活援助(みのりほーむ 定員6名、みのりほーむ2 定員5名、みのりほーむ3 定員5名)、相談支援事業所(らしんばん)になりました。

また、地域生活支援事業(移動支援事業、日中一時支援事業)も各市町村から委託を受けることができ、幅広い活動が行なえるようになりました。

職員も、人数が増え、職員全体で39名(育休3名)になりました。

これも、みのり福祉会を支える皆様方のおかげだと思えます。

さて、今年度の、みのり福祉会の取り組みはと言いますと『社会福祉法人認可』と『生活介護事業の開設』です。なかなか単年度事業とはいきませんので、平成30年度までに開設できればと考えています。

現在は、2,000㎡位の土地を四街道市で探しております。会員の方で、土地に関する情報がありましたら、ご一報くださればと思います。

今回の会報のテーマは「つなぐ」です。

私は9月に還暦を向かえます。ここ数年は、1年間が早く過ぎ去っていくような気がします。子どもの頃は、もう少し空気がゆったりと流れていたような気がしますが、障害のある方から学んだことを、また、事業所・法人の運営、対外的なことを、次の方へつなげていかなければなりません。そんな時期に来ているような気がします。

職員はこの「つなぐ」という言葉をどう受け止め、どう感じているか、ご一読いただければと思います。

今年度も、よろしくお願い致します。



副理事長 川嶋 司朗

私の知人に、長い間、家を出ずに、家族とだけ過ごしてきた人がいます。その人がふとしたきっかけで、弟と家を出る事になりました。そのきっかけは、就職。叶うかどうかかわからないけれど、ちょっとした航海に旅立ちました。その旅は、私たちには想像を絶する大変なものでしたが、一緒に旅立った弟が、とても優しく心の大きな会社の社長さんに出会い、仕事を見つけたことができました。弟はうれしくて、すぐに社長さんの元で、働きだします。

残された私…。何だろう? 心に穴が空いてふさがらない。何とも言い現せない気持ち、涙だけが止まらない。支えになっていた何かが、急に無くなってしまっ

た。旅はもう止めよう、また家に帰ってしまおう。

そう思った時、何処からともなく、「大丈夫、まだまだ応援するよ」「一緒にもう少しやって見よう」と、一人またひとりと、今まで彼女を見えない力で応援してきた人たちが現れました。嬉しいのかびっくりしたのか、また涙が溢れてきました。人は、ひとりでは生きて行けません。一人で何でもできているつもりでも、必ず誰かが支えてくれている。彼女は、これからそれに気付くかどうか、それはわからないけれど、また新しいスタート地点に立ちました。

皆さんも、心のどこかで、ほんの少しいいので、彼女のこれからを応援していただくと嬉しいです。

たくさんの見えない手と手が、誰かのためにつなごうと願っています。

神野 孝浩

「つなぐ」という言葉は色々な事・場面に使われたり、意味も様々である。

例えばバトンをつなぐ、つなぐ野球・心と心とがつながる、次世代につなぐ、後輩につなぐ、部下につなぐ、親から子・子から孫へつなぐ等といるいるである。

自分自身においての「つなぐ」は仕事では、自分が休みの際・異動・退職といった自分自身がない場合も業務が円滑に行われるように、日頃から他の職員が分かるように、すぐ引き継げるように準備をする事が「つなぐ」なのではと思う。また、その事で自分自身に余裕が出来、新たな業務・仕事等ができる事にもつながるのである。

あとは、利用者へピース卒業後の人生において、よりよい生活や仕事につながるように支援する事も「つなぐ」である。

もう一つは、わが子へ親として、人生の先輩として、自分自身の経験や親や色々な方から得たものを教えつなげていくのも「つなぐ」である。人は人生において、日々色々と「つなぐ」をつなげているのだと思う。

市原 章子

今年の夏で2歳になる孫とお買い物に行く。いろいろな物に興味を持ち、おしゃべりも軽快になってきた。ガチャガチャー!! アンパンマン!! うどんジュチュ(ぶどうジュースの事です)



「手って、繋ごうね」と言っても、お目当てに小走りで突進して行く。転ぶのではないか、買い物客にぶつかるとのではないか、いつもヒヤヒヤする

今日こそは、走り出さないようにと手を繋いでみるのだが、結果は惨敗…振りほどいて全力で走って行ってしまふ。逞しさを嬉しく思う反面、振りほどかれた寂しさ、空いてしまった右手が虚無感をひしひし感じてしまふ。それでも階段やエスカレーターを使う時には「手って」と左手を伸ばしてきてくれる。これから何歳

になるまで手を繋いでくれるかな? 手を繋ぐのも大事だけど、心を繋いでいけるかな。

斉藤 秀美

最近、兄の話し方や食べ方が亡き父に似てきました。何十年も経つのに…遺伝子ってすごいなって、関心した今日この頃です。

つなぐ…つなげると言えば…家族。家族と言えば福山雅治の「家族になろうよ」ですね。「明日のわたしは、それほど変わらないとしても一歩ずつ与えられる人から 与える人へかわってゆけたなら」～ そろそろ、与える人になりたいです。



成嶋 美雪

学生時代は、遊んだりすることがなかった友達とも最近では、趣味を通していろいろな話をしたり、遊ぶことがよくある。また、友達や趣味を通して、友達の友達だったり、いろいろな人と接する機会が増えた。いろいろな人と接し、話をしていると、学生時代の友達や同級生と友達だったりするので、人と人は繋がっているのだと感じた。

社会人になって、新しい友達ができるとは思わなかったで、学生時代からの友達や、趣味を通してできた、新しい友達との繋がりをこれからも大切にしていこうと思う。

高橋 榮子

「高橋さあ～ん、こっちはあながあいてま～す」

今年の初めは、寒かったせいか、ホースの水が凍ってあちらこちらで、切れていた。「やってみるか」と修理を始めたら ホースを繋げるための いろんな工夫された継手があったり また、失敗～成功もあり「なるほどね」もあり、ちょっと面白い。繋がった後は、嬉しく、ちっちゃな幸せ..



この繋ぎ方が出来るようになった利用者さんは、いいご縁があって就職しました。次は誰につなごうかな。

そして、目の前の小さいと思える事を、「失敗したけど、また今度。」「卵を拭いた、内職できた」とシンプルにつないでいってその中で、わからない事がわかった、とささやかな喜びを感じて 日々をつないでいきたいね、ということもつないでいきたいな～と思うこの頃です。

富谷 結花

生まれてから今まで、多くの方にお世話になってきました。

直接関わる方もいれば、顔を合わせなくても、どこかに繋がりがあり、関わってくださっている方もいます。

成長するにつれ人との繋がりは増えていき、そのどれもが切れることは出来ず、多くの方に支えられていることがよくわかります。

今までの繋がりと、これからの新たな繋がり。繋がりがあから今があるという感謝の気持ちを忘れることなく、一つひとつの繋がりを「つないでいく」ことを大切にしていきたいです。



高橋榮子 成嶋美雪 富谷結花
神野孝浩 市原章子 斉藤秀美

大島 芳江

今年度、初めての、みのり通信のお題は『つなぐ』

普段、何気なく使っている言葉ですが、字を調べてみると、直ぐに書けない様な難しい字ですね。

「家と家のつながり」「人と人のつながり」「血のつながり」「手と手をつなぐ」いろいろ出て来ますが、家庭では血のつながりが、お互い喧嘩しても、信頼が有るから、又直ぐに元に戻れますが、社会へ出るとそうは行きませんが、お互い相手の心のさぐり合いです。信頼関係が、出来上がるまでは苦勞します。利用者さん達ともそうだと思います。今、何を考えているか、何をしたいのか、何をしたいのか。相手の気持ちになってさし上げる事が信頼関係、心のつながりが出来ると思います。

高橋 和也

この原稿を、毎回楽しみに待ってくださっている1億2千万人のファンの皆様、みのり福祉会、裏広報部の高橋です。原稿を締め切りの翌日に一生懸命書いております。事務の森さんの「まだ原稿仕上がってないの? こまっちゃうな～(汗)」が聞こえてきそう.....



今回は「つなぐ」.....んっ? 今年の24時間テレビのテーマも「つなぐ」らしいですね。今年もチャリティーマラソンのオファーを待っていましたが、もちろん来るわけもなく8月22日・23日のスケジュールが空っぽになってしまいました。走るつながりでもう一つ、この原稿を、書いて1週間後に、うちの子の運動会があります。しかも、今年は自分がリレーで走る羽目に。もちろん黒幕には、うちの嫁がいました。

子供にカッコイイ親父の背中を見せる為ではなく、ただ笑いのネタのために応募したそうです。運動会あるあるコーナー♪①先生は行進の練習にやたらと熱心になる。②普段より豪華なお弁当になるが、他の人がカップラーメンを食べていると美味しそうに見える。③練習期間は勉強

放置。④予行練習では、1位だが本番では最下位。⑤綱引きの綱がなぜか臭い。⑥腕にマッキーで「友情」「絆」と書いてしまふ。と、面白おかしく書きましたが、自分も小学生の時は、運動会の為に小学校に通っていたような.....(笑)

なになに? 今回も話が脱線しているって? いやいや、リレーでしっかりとバトンをつなぐますよ!!

その前に、気合が入りすぎて足がもつれてコケない事を願います。あとは練習で足が「ミートグッバイ」にならないように気を付けないといけませんね!.....えっ? ミートグッバイってなんですか? ミート(肉)グッバイ(離れ)。お後がよろしいようで!!

「つなぐ」がテーマという事で最後に、真面目な話を2、3行だけ書かせてください。自分がゴミ拾い活動を、はじめたきっかけは、子供が生まれてからでした。それまでは、ゴミ拾いなんて、地域のゴミゼロ運動ぐらいで、歩いていてもポイ捨てされているゴミなんて、気にもならないし、道路の中央分離帯に心無いドライバーが捨てた大量のゴミでさえ見て見ぬふりでした。

ある日、子供の頃から通っていた釣りが、釣り人の出すゴミや不法投棄が原因で立ち入り禁止になっていました。子供が大きくなったら一緒に釣りに来ようと思っていたので、とてもショックだったのを覚えています。

自分が子供の頃に楽しかった事を、子供たちに経験させる事の出来ない悲しみや怒りが込み上げてきて、「このままだと大人のせいで、子供たちの遊び場が少なくなっていく」と思い、ゴミ拾い活動を始めたのが7年前でした。最初はゴミ拾い



イベントに行っても、ただゴミを拾って帰ってくるだけでしたが、何度か参加していると顔を覚えてもらえて声を掛けてくれる人も出てきました。ゴミ拾いが人と人をつなげたのです。

みのり福祉会の利用者さんと一緒に参加している『まるごみ』というゴミ拾いイベントは毎月第1日曜日に全国で一斉にゴミ拾いを行っています。同じ日、同じ時間、同じ想いでゴミ拾いをする、その瞬間に全国の人達と知らないうちに繋がっているのです。この繋がりで子供達へのびのびと遊べる場所を増やしていきたいと思ひます。

最近、嫁にこう言われました。『あなたは、人との繋がりを大切にしているって言うけど、釣りの時は携帯電話が全然繋がらない(怒)』ってね。チャンチャン♪



みのりほーむ



みのりほーむ2



みのりほーむ3

< 本部職員 >

荒木 理恵

世の中、不思議とご縁でつながっている。人のつながりもご縁がある方は、切れそうでも切れずにつながっており、切れな思ひ

ていても、いつの間にか切れてい人もいる。また、思わぬ人と人のつながりもある。どこでご縁がつながっているかわからない。

人間、自分ひとりで生きているわけではない。周りの人とともに歩んでいかなければならない。ご縁のつながりかたは、人に限らず、とても不思議である。

長戸由香里

つなぐ：物などをつなぐ、人と人をつなぐ、次世代につなぐ……

言い方一つでいろいろなお話が出来る言葉である。

自分は、何かをつなぐ事が出来るのだろうか？出来るかできないかわからないが、今を精一杯記憶につないで生きたい。

高橋 良彰

「接着剤」とは、モノとモノを「ツナグ」ために使われる物質。さて、一口に、接着剤といっても接着するモノや用途によって、その種類は多岐にわたります。中でも、特に便利なのは、皆さんご存知「瞬間接着剤」です。

接着したいモノどうしを文字通り瞬間につなげてしまうので便利この上なし。工作や補修といった場面で、とても役に立つので、皆さんも一度は使われた経験があるかと思いますが。

ちなみに、「瞬間接着剤」はとても便利な反面ウイークポイントがあって、ペットボトルに使われるPET材をはじめ、ポリエチレン、ナイロン、シリコンゴム等々の難接着素材は接着出来ません。また、接着するモノどうしの面と面に、隙間が多くてうまく接着出来ず、引っ張る力(縦方向の力)には、とても強いのですが、接着面に対して横方向の力にはとても弱いといった特性もあります。

ところで皆さんは、初めて使った接着剤って何でしょうか？私は幼稚園の工作の時間に使った緑色のチューブに入った「でんぷんのり」だったと思います。指ですくって『むにーっと』のぼして色紙をペタペタ貼ったり、箱とか画用紙を糊付けして怪獣っぽいを作ったりとか。加減を知らないものだから、たっぷりすくってたっぷり塗りつけて、当然ものすごい勢いで、はみ出すし、指もベッタベタ。触るもの皆んなのり付けて、ガビガビになった服をあの頃母はどんな思いで洗濯していたのでしょうか。

「のり」といえば、母はとても器用な人で、毎年、年末になると家中の障子戸を外し、古い障子紙を剥がして綺麗に水洗いしたあと「障子のり」を刷毛で丁寧に塗り、新しい障子紙に張り替えていました。それを幼かった頃の私は、傍でジーッと眺めたり障子の切



れ端に「障子のり」をくっつけて遊んだり(というか邪魔)していました。新しい障子紙から差す眩いばかりの真っ白な光が印象的でした。

母は自転車のパンク修理も得意で、乱暴に乗り回しては、しょっちゅうパンクしていた、私の自転車を直してくれました。

まずタイヤからチューブを引き出し、少しだけ空気を入れてから水を張ったバケツに沈め、空気が漏れてブクブクと泡を立てるところを見つける。次に水気を良く拭いてから、見つけた穴の周囲をサンドペーパーで荒らし、「ゴムのり」を塗って息を吹きかけ、半乾きになったところで、パッチを当てハンマーで軽く叩いて貼り付ける。最後に逆の手順でチューブをタイヤの中に戻し修理完了。

それを傍で眺める私。思い起こせばあんなに何度もパンクさせては、そのたび修理してもらったのに、不思議と怒られた記憶は無いんです。

大人になった今では、自転車のパンク修理くらいは、なんとか自分で出来たりしますが「ゴムのり」の匂いを嗅ぐと、パンク修理をする母の背中をふと思い出すことがあります。

森 政雄

非常・災害時を想定して、自治体や医師会等でアマチュア無線の活用が進められて(または検討)されています。

なぜ、アマチュア無線が注目されているのでしょうか？

地震、風水害等でライフラインが寸断されると、まず電話、携帯電話はつながりづらくなりま

す。lineやスカイプといった環境での連絡手段が考えられますが、それでもネット環境が利用できる場合に限定されます。

東日本大震災の時、孤立した避難場所と公共機関との連絡手段として、多くのボランティアによるアマチュア無線を使った情報の伝達が有効に機能しました。

ひるがえって、われわれの福祉の職場で、例えば送迎の途中にグラツキて、交通渋滞に巻き込まれ、あるいは孤立したとき、事業所に安否をいち早く伝えることが大切です。

こんな時、停電でも自動車のバッテリーで通信できるアマチュア無線は有効な通信手段として機能します。

アマチュア無線は、国家資格が必要であり、通常時は、このような目的での使用は禁止されていますが、普段、携帯電話と同様、趣味の通信手段として利用し操作に慣れているなら、いざというとき操作に戸惑うことなく利用できます。

多くの支援員が、資格をとり、アマチュア無線を楽しんでいただけるなら、いざというとききつと役に立つのではないのでしょうか？

私は、アマチュア無線技士の養成課程講習会講師として長年たずさわり、多くの方の国家資格取得のお手伝いをしてきました。

8月には、四街道市文化センターで講習会の実施が計画されています。土日のたった2日間で資格を取得することができます。

ぜひこの機会にチャレンジしてみたいかがですか？



森 政雄 高橋良彰 高橋和也 菊地久子 長戸由香里 大島芳江

浅野 亨

日頃より青空協同組合の活動に對しましてご協力、ご理解頂きまして誠にありがとうございます。青空協同組合、浅野です。今年度も何卒よろしく願い致します。みのり通信、今回のテーマは、『つなぐ』です。

相変わらずの野球関連の内容で申し訳ございませんが、高校野球球児、時分によく当時の監督から打席に入ったらつなぐ意識をもてとよく言われました。

野球の打撃でも、駅伝のタスキを次の選手に必死でつなぐように、自分で決めようとせず、仲間を信頼し、ボールを見極め、四球でもなんでもいいから次の選手につないでいくという意識です。

もう少し深く言いますと、ボールを引き付けて自分の体に近いポイントで窮屈に打つ、そしてボールに差し込まれることを恐れない、それがその結果つなぐ打撃へと繋がるのです。

元ミスタータイガース掛布氏も同じことを話していました。ただ高校通算2本の私は、自分が強打者と勘違いしてしまい何度となく投手の投げる甘いスライダーを引っかけ、6-4-3、もしくは5-4-3のダブルプレーでチームのチャンスを潰してしまいました。

今更ではありますが、現在行っている草野球では、つなぐ意識の打撃で草野球通算150本(20年間)の右へのヒットを量産中でございます。

今年母校も千葉県春季野球大会ベスト4に入り、7年ぶりの夏季選手権野球大会Aシードであります。甲子園の出場を期待されています。後輩の皆さん頑張ってください、つなぐ意識をもって！！

瀬浪 真子

毎年、面倒だな…と頭をかすめることもあるが、やめられないことが年賀状を書くことである。やり取りをしている人の中の一番古いところで、私が小学校4年生の時の担任の先生である。

特に私の中で印象深く、憧れの女性の先生である。その先生は今ではすでに退職されているが、今年頂いた年賀状には「筋トレを始めました。

あと、色々なところに出かけて楽しんでいきます。」とあった。これを読んで「先生もお元気で頑張っているんだな、私もがんばらなきゃ…」と、未だに先生には励まされ、先生とのつながりを感じるのである。その他、高校、大学時代の友人や元職場でお世話になった先輩や同僚、成田に住んでいた時のママ友など…普段あまり連絡を取ることがないが、その時代に知り合い、共に過ごしてきた人とのつながりを、大切にしていきたいため、この年賀状のやり取りを、できる限り続けていけたらと思っています。

関 牧子

例えば、私が友人宅に招かれたとして、手土産を購入し、持参します。

友人宅の玄関先では靴を揃えてから上がります。そんな何気ない行動の一つ一つでさえ、我が子へ繋がれていることを知ります。私がしていたように、娘や息子は友人宅へ招かれると、同じことをするのです。私自身も何故その様になるようになったかと言えば、母がしていたからです。

このようにして、しきたりが繋がれていくのでしょうか。

私の子育てのテーマは『愛のバトンリレー』でした。三日間、飲まず食わずの状態、天からパンが一個落ちてきたとして、誰かに少し分けて欲しいと言われたら、きっと、少しもあげたくないと思うでしょう。でも満腹時なら「どうぞどうぞ、お食べください」と寛容になれるのでしょうか。

私は、愛をそんな風にイメージしながら子育てをしていました。

私の愛で、我が子の心を満たしてあげられたら、泣いているお友達に優しく声をかけることが出来るでしょう。友達の喜びを妬むことなく共に、喜ぶことが出来るでしょう。そうやって愛をバトンリレー出来たらいいなと思いつながりながら子育てしてきました。

今、娘は19歳、息子は17歳。二人とも、お友達に囲まれ先輩やバイト先でも可愛がられていた様子。そんな我が子を見て、愛が繋がれていることを知ります。

富満 一之

人間関係をつなぐのは、どれだけその関係を大切に思えるか、できるかだと思います。

そのためには、いいことや楽しかったこと、大事にされたこと、大事にしたこと、などを思い出すのが良いと思います。前に進むことも大事ですが、余裕のある生活をして、昔のことを振り返る時間も必要だと思います。過去は、未来につながるし、未来は過去につながっていると思うからです。瞳を閉じれば、誰にでも暖かな記憶はあると思うのです。嫌なことがあっても、全てを否定することはないと思います。

遠藤 寛子

「つなぐ」とつく言葉を探してみると、手をつなぐ、バトンをつなぐ、係につなぐなど色々な「つなぐ」がありました。しかし、どの「つなぐ」も一人ではできないもので、必ず自分以外の誰かがいないと、できないことだと思います。一人では、出来ないことも繋がりがあれば解決できることはたくさんあると思いました。一つ一つの繋がりを大切にしていきたいです。

新山 悠里

私は四月から家族と離れ、一人暮らしを始めました。毎日顔を合わせていた家族と会えなくなり、とても寂しかったです。そんな時に、祖母が携帯電話を持ち、よく電話をかけてきてくれるようになりました。離れていても、繋がっていられると思うと、少しさみしくてもがんばれます。いつかは、離れなければいけない日が来ますが、その時までには繋がっていたいと思います。



瀬浪真子 新山悠里 富満一之 遠藤寛子 関 牧子 浅野 亨



< ひまわり職員 >

< <ろーぱー職員 >

伊藤 郁

私の今の住まいは、もともと祖母が住んでいました。引っ越しをしてから、かれこれ10年目になりますが、いまだに「伊藤さんのお孫さんなの(〇)」と、近所の方から声を掛けてもらっています。



パン作りや人と関わることが大好きだった祖母は、生前たくさんの方にパンをプレゼントしたり、話を聞いてもらったり、持ちつ持たれつとの関係を大切にしていました。そのつながりのおかげで、私はずっと周りから支えてもらい、子育てをしています。

新聞に良い記事が載っているとポストに手紙付きで入れて下さる方。仕事で、家にいない時間の長い私に変わって、子ども達を気に掛けて下さる方。「元気に、遊んでいたわよ!!」「仲が、いいわね。」「大きくなったわねえ!!」などなど、休日に草抜きなどをして庭に出ていると、いつも声を掛けてもらっています。そんな時、思うのは、「祖母が私をつなげてくれている」です。

自分が育った町、家族がいる町は温かい人の「つながり」をたくさん感じながら生きていけるなあと思う私でした(〇)ノ

大木 静華

中学校の同級生で、とても仲の良い友達がGW中に北海道へ引っ越ししてしまいました。旦那さんの仕事の都合なので「応援しなくてはい」と思っていますが、やっぱり寂しいものですね(ノ;)

中学生の頃から、彼女を含めてのグループで良く遊んでいたのですが、この歳になると月に1回会う程度。それでも同じ地元において、会おうと思えば、いつでも会える環境が心地良かったのですが、北海道だと距離も気持ち的にも、とても遠く感じてしまいます。それでも彼女とは、一生友達でいたいし、一生繋がっていたいと思っています(〇)ノ

押木久美子

「つなぐ」というと「手をつなぐ」というイメージが浮かぶ。あんなにちっちゃくてふわふわのお手てが、今や家の手伝いも私の相談相手にもなるほどしっかり成長してくれている我が子達。家族というチームで心もつながっていると信じている。

職場というチームも、大切にしていきたい。手も心もつなぎあい、支えあい、笑いあって、日々楽しく充実した時間を共につなげていきたい。私も子供達に負けずに成長するぞー!!

山縣 正典

つなぐと言う事には、縦につないでいくことと、横につなげていくことが有ると思う。

横につなぐと言うことは、連携・協力していくと言うことなのかなと思う。また、縦につなぐと言うことは、文化・技術等伝承していくことだと思う。

横につなぐ連携・協力等は比較的できやすい物であると思う。

縦につなぐ文化の伝承は、無意図的なもので、親から子、子から孫へと自然につながっていくのだと考える。一方技術等は、意図的に伝えていく必要があるものだと考える。ただ、受け継いでいく人材が少なくなっているのが、少子化の問題を抱えている日本は、これからどんな「つなぎ方」をしていけばよいかを、考える必要に迫られてくると思うが、すでにそんな時代になっているのかもしれない。

三好 優哉

繋ぐ〜つながり〜

私が、繋がりに関して思うことは、手と手を繋ぐというのも大切だが、人と人との繋がりも大切だと思えます。私が今、この「繋ぐ」というテーマを考えてられるのも、私が今、こうして「みのり福祉会」に繋がったからこそ改めて考えさせられました。

やはり、人と人との繋がりは大切ですね。



野本美沙子

今回、テーマが繋ぐということでしたが、繋ぐと言われて一番初めに思い浮かんだのが、「手を繋ぐ」ということです。

手を繋ぐことは、人間だけがすることであり、動物が手を繋ぐことは、あまり見られません。

手を繋ぐことは、家族や子ども、彼氏彼女など…手を繋ぐ事が多いと思います。

手を繋ぐ時には、やっぱり相手を心から許しているのが繋ぐ事が出来るのだと思います。

今、私は、ひまわりの子供達と過ごしています。手を繋ぐこともやっぱり多くあります。でも、照れて手を繋がない子や、手を繋ぐ事が嫌な子もいます。そんな事が多いひまわりの子供達ですが、手を繋ぐことに関しては、無理をせずに見守って行きたいと思いました。

手を繋ぐことについて、考えることが出来て勉強にもなり、良かったです。

富彌真奈美

「繋ぐ」といえば「バスを繋ぐ」サッカー好きな私にはそれが一番出てきました。全員がゴールに向かってバスを繋いでシュートを決める。その姿に私はいつも熱くなります。しかし、ただバスを繋いでいるだけでは何も始まりません。逆にボールを失うこともあります。そんな時、バスを繋ぐだけでなく誰かが一歩踏み出すことでチームは前へ前へと進むことができます。そんな熱くなるプレーを選手がしてくれた時にはスタジアムが一体となります。みんなが同じ思いを持って声援が大きくなる、それに選手が応えてくれる。最近のジェフには監督・選手・サポーターのいい繋がりを感じます。そう考えているうちに仕事も同じかなと思いました。仕事でも誰かが頑張るに誰かが答える。そうやって繋がりを深めていくのかなと思います。

さて、みんな繋がっていると感じるほどいい雰囲気はジェフ、今年は好調です！見てみたいですよ？その雰囲気感じてみたいですよ？皆さん是非フクアリへ！\(^o^)/

黒木 美佳

今回のテーマは「つなぐ」と言われ、私は映画化もされた「ツナグ」が思い浮かびました。大切な人を亡くした者と死者を一度だけ再会させる仲介人「ツナグ」という職業を通じて他人の人生に深く関わっていく青年の葛藤と成長を描いた映画です。現実では亡くなってしまった人と再会することはできません。この映画を見て、親子の繋がり、親友同士、そして恋人同士…いろいろな出会いと別れがありました。私もこれから生きていく中で、出会いと別れを大切に毎日たくさんの人と関わっていきたくと思います。

伊関 彩

どんなつながりだとしても、つながりがあると関わりがあります。関わりがあると、想いがあるということになります。様々な想いから、学べるものがたくさんあるので、つながりを大切に、たくさんの想いを感じていけたら良いなと思います。

阿部 仁美

「つなぐ」と聞くと、なにか強いものを感じます。

人と人が手を繋ぐと紐のかた結びのようにみえませんか？しっかり手を繋ぐと固い結び目が出る。人はしっかりと結ばれていると安心すると思います。

でも、なかなか誰とでも手を繋げるわけではないですよ。

まずは、心と心を通わせて繋げていき手を取り合い、人との絆を繋げていく。そこを大事にしていきたいと思っています。

そして、その紐の結び目が、縦だけではなく横にも広がっていけるといいと思います。

畑山 雅子

私は、子ども達が陸上部という事もあり正月の「箱根駅伝」を見るのが大好きです。当然、選手1人1人を母のような思いで見たい。「無事に走って欲しい」「最後まで襷を繋げて欲しい」…

だが、毎年繋がらない襷が出てしまう。それこそ、あと数メートルという時は声にもなりません。彼らが今日までどんな思いで苦しい練習を続けてきたのか、繋がれなかった襷の重さをどう受け止めるのか…。考えるだけで泣きそうになるが、いつも我慢しています。

目に見える襷と、目に見えない想いが繋がる事の素晴らしさと難しさを感じながら、年明けを過ごしています。

想いをつなぐという事では、3年前から始めた活動が続いている事に感謝している。何かを始める事、続けていく事には、多くの人々の想いと行動がつながる事で、実現できるというのを、日々考えさせられ、協力してくれる人達にいつも感謝しています。



< らしんばん >

前川 優香

最近、世間はせまいな…と思うことが多いです。

いろいろな交流関係の中でのつながりやお出掛け先での出会いなど…

きっとすべての出会いは、自分にとって必要な出会いであり、この先必要となる繋がりなのかもしれない。と改めて思いました。

これからも、いろいろな『繋がり』を大事に、楽しみにしたいと思います。

菅原 輝代

「つなぐ」という言葉で連想するのは手をつなぐということ。

色々な場面で、手をつないできた。幼い手だったり、フォークダンスで意中の人の手だったり。手の感触は違うものの、相手の体温を直に感じる事ができる。

本当にまいているときだったら、手をつないでいるだけで安心したり、かたくなだった心がほぐれていくような気持ちになっていく。そんな人についてほしいと思う。

さて、自分はどうか。手は2本しかないわけだが、聴くことも話すこともできる。手はつなげなくても、手を貸すことも寄り添うこともできる。必要なら相手を別の誰かにつなげていくこともできる。以前、少年院に研修に行ったときに塀はあるけれどもそこから外に出ようという子どもはいないと聞いた。それは、支える人を裏切れないという強い気持ち、つながりの強さがあるからだろう。信頼関係は、目に見えない。目に見えないものを形にしていくのは難しいが、積み重ねていきたい。



上段左から 押木久美子 畑山雅子
伊藤 郁 三好優哉 富彌真奈美 山縣正典
下段左から 黒木美佳 阿部仁美
野本美沙子 大木静華 伊関 彩